（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | でらび～ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和　8年　1月　5日 | ～ | 令和　8年　1月　23日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 14名 | （回答者数） | 名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和　8年　1月　5日 | ～ | 令和　8年　1月　23日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 7名 | （回答者数） | 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和　8　年　2　月　4　日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 専門職が充実している為、安心して預けることができる | 受け入れ時に健康状態や家での様子等を確認<br>何か変わったことがあった時には保護者に連絡をし確認をとってからケアにあたる<br>生活介護職員にも情報共有している | 現支援を徹底していく。<br>保護者との情報共有を徹底し、チームでの共有もしっかり行っていく<br>医療機関等の関係機関とも引き続き連携して支援にあたる |
| 2 | 給食がありミキサー食対応している | ミキサー食で胃ろう注入しながら摂食練習している子どもは医者の指示のもと摂食をすすめている | 現支援を徹底していく。<br>家族の意向に沿った摂食や胃ろう注入を今後もすすめていく。 |
| 3 | 生活介護と併設している為、協力体制がある<br>移行もスムーズ | でらび～の子どもたちの情報を生活介護の職員にも共有し、一緒に関わる時間を作り支援の幅を広げている | 現支援を徹底していく。<br>子どもたちの支援者が増えるよう、今後も互いに情報共有しながら支援していく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 送迎や入浴サービスがない | 生活介護が主に車両を送迎で使用している為、車両が不足している。人員不足もある。 | 現時点で送迎や入浴サービスに対応するのは難しいが、緊急時などは |
| 2 | 感染症疑うとき等に個室対応が難しい | 扉がなく全体が見渡せる施設の作りになっているため | 感染症疑いの時は極力他児と距離をとって過ごしていただき、保護者の迎を待つ。<br>面談等で使用する和室が一部屋あるため、そこを使用し1対1の対応と、帰りは和室のドアから外へ出るよう配慮する。 |
| 3 | 設備が古い | 築20年以上の為、不備が出やすい。 | 危険が無いよう点検を強化していく。<br>必要な物品は新たに買い替えていく。 |